

令和6年度 第2回横手市地域公共交通活性化協議会

日 時 令和6年8月23日（金）13：30～14：30

場 所 横手市役所本庁舎2階 第一会議室

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

議案第1号 乗合タクシー角間川線試験運行終了について 資料1

4. そ の 他

5. 閉 会



令和6年度第2回横手市地域公共交通活性化協議会 会議録（概要）

- 日 時 令和6年8月23日（金）13:30～14:20
- 場 所 横手市役所本庁舎 2階 第一会議室
- 出席者 委員21名（うち代理出席6名）
- 欠席者 委員1名

【概 要】

1. 開 会

2. 会長あいさつ

本日はお忙しいところお集まりいただき御礼申し上げます。

市で先月から新たな施策として始めている秋田空港と横手市を結ぶ「よこて WARP」については、おかげさまで好意的に受け取っていただき、初日から中々の人数に利用いただいている。市として設定していた日数のうち8割以上が稼働している状況である。関西方面や東京方面の方などさまざまな乗客に利用していただいている。試験的にということで予算的には厳しいところもあるが、これを機に空港から県南のほうへという動きがひとつできればと思っている。今後もうしばらく試験運行を続けていきたいので、動向を確認いただけると幸いである。

その反面、本日の議題は残念な報告となるが、事務局からの説明を聞いていただき、よくご協議いただきたい。本日の会議はよろしくお願い申し上げます。（横手市 村田副市長）

3. 議 事

(1) 乗合タクシー角間川線試験運行終了について

事務局より資料に基づき説明。

Q. 説明会への参加者が少ないが、乗合タクシー角間川線が無くなったら困るという声はなかったか。（雄物川地域 宇佐美委員）

A. 説明会へは実際の利用者の参加はなかった。廃止に関するチラシを利用者へ配布したところ、実際の利用者2名からお電話をいただいたが、いずれもバス路線廃止後1年間の試験運行に対する感謝の声であった。（事務局 細谷）

Q. 横手デマンド交通へ頭を切り替えている人もいると思うが、黒川地域では地域活動を行っている団体があると聞いており、そのような団体が自家用有償旅客運送を実施するという話は出なかったか。（雄物川地域 宇佐美委員）

A. 自家用有償旅客運送について、増田町の狙半内共助運営体による上畑線の取り組みの話が出た。地区交流センター長とは、実際に運行するとなると、改めて目的地やルートを決

める必要があり、現在のルートと同じように運行しても失敗してしまうのではないかという話をした。黒川地区の運営協議会の中の生活安全部会で困り事やこういったところをルートとすべきかを聞き取りしたうえで、次の段階として自家用有償旅客運送を検討していければということであった。(事務局 細谷)

Q. 地域の人たちは車両のことやルートの管理監督を市でやればよいと思っているのではないかとされるが、地域の課題を地域で解決するような本来の自家用有償旅客運送をやるべきだと考える。定時定路線であるために利用者が少ないと思われるが、地域で自家用有償旅客運送をやりたい人を探したり、募集したりすると出てくると思う。そういった投げかけを地域に対して、市から働きかけをする必要があるのではないか。

(雄物川地域 宇佐美委員)

A. 4月上旬に実施した試験運行半年間の実績に係る説明会では、黒川地区の方から自家用有償旅客運送の話が出た。実際に増田町の狙半内共助運営体ではこのようにやっているという事例を紹介した。今回9月末でこの乗合タクシー角間川線の試験運行が終了したのち、地域の課題として移動手段に関して声が挙がった際には、引き続き相談にのっていきたい旨をお伝えしている。(事務局 細谷)

4. その他

・JR 北上線全線開通 100 周年関連事業について

○事務局より紹介

○これまで北上線の利用状況は厳しいとお伝えしてきたところであるが、今年は 100 周年ということで、より盛り上げていきたいと考えている。何年ぶりに乗ったというのではなく、できれば日々ご利用いただきたいと思っているので、よろしくようお願い申し上げます。

(JR 東日本秋田支社尾上委員・代理出席 外山担当部長)

5. 閉 会

以上